事業成功の鍵はルール

ゴミの正しい出し方をチェック

いよいよ今月から、全市一斉に有価物回収事業がスタートします。この事業が今後発展するかどうかは、市民一人ひとりの自覚と行動にかかっています。限りある資源の有効利用とごみ減量化、そしてごみ処理経費の節減のため、市民全員がこの事業に積極的に参加されることをお願いします。

今号では、この事業開始にあたって、ゴミの正しい分別と出し方についてお知らせします。

出した可燃物の中に資源ゴミはないか

今月から「びんの日」がなくなり、「資源の日」がスタートしますが、この事業成功の鍵はゴミの分別にあります。「燃えるゴミ」「燃えないゴミ」「資源ゴミ」の分別と正しい出し方をルールを含めてもう一度チェックしてみましょう。

□燃えるゴミの日の出し方

▽出してよいゴミをよく確認しましょう。

資源として利用できない紙や台所ゴミ、布類、木・竹などの植物性のゴミ、軟らかいプラスチック製品など。びん・古紙類は「資源の日」に出してください。

▽台所ゴミは、できれば生ゴミ処理器で処理しましょう。

生ゴミは処理器を使えば、ごみ減量と同時に、庭先で手軽に堆肥がつくれるという一石二鳥の効果が得られます。どれぐらい減量化できるかというと、一世帯一か月間で約二十キログラムといわれています。仮りに全世帯で利用したとすると、およそ二一%の減量化が可能ということになります。大いに利用しましょう。

▽「燃えるゴミを入れる袋は何でもよい」では困ります。

燃えるゴミは、丈夫な袋に入れ、口をしっかり締めて出すのが基本です。このとき注意してほしいのがゴミ袋。ゴミ袋は透明または乳白色のポリ袋を使ってください。紙袋や黒いポリ袋、段ボール箱をその代用にしないようお願いします。紙袋の場合は破れやすく、手間がかかったり、黒い袋は中味が確認できないため、収集作業中けがなどの事故にもつながります。また、段ボール箱は貴重な資源であり、これも収集に手間がかかります。段ボール箱は燃えるゴミの日に出さず、折りたたんで「資源の日」まで保管しておいてください。

なお、ゴミ出し用のゴミ袋は、例えば新津市公衆衛生協会などで毎年春・秋あっせんしていますので、ご利用ください。

▽ゴミを出す時間を守りましょう。

収集日を確かめ、収集日の朝八時三十分までに出してください。収集日の前からゴミを出すと、犬や猫が袋を破ることがあり、不衛生ですし、収集作業が困難になります。ステーションはゴミの一時置場で、ゴミの捨て場ではないのです。みんなでルールを守りいつもきれいにしましょう。

□資源の日のゴミの出し方

▽古紙は、新聞、雑誌、段ボール・紙箱の四種類に分別し、ひもで十文字にしばって出しましょう。

▽古紙として出せないものがあります。

感熱紙、カーボン紙、ロウ引き紙、ラミネート加工された紙などは、古紙として再利用できませんので交ぜないでください。また、ポリ袋、チョコレートなどの銀紙、アルミ箔、ビニールなど紙以外のものも絶対に交ぜないでください。ティッシュボックスについているポリエチレンや段ボールについたビニールテープなどは、はがしてから出してください。牛乳パックだけ集めてリサイクルすることはできますが、全市一斉有価物回収事業では取り扱いません。

※ゴミの出し方の諸注意については、広報といっしょに配付するチラシをご覧ください。

再利用できない古紙もある

赤塚誠也 氏

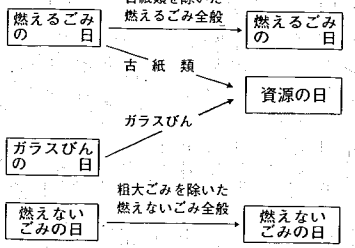
赤塚誠也氏を収入役に選任

五月八日以来空席となっていた市収入役に、市議会本会議での同意を経て、十月一日付けで赤塚誠也氏（南町）が就任しました。

赤塚氏は、昭和六年七月生まれで現在六十歳。昭和二十五年、新津市に入り、教育委員会学校教育課長、水道局業務課長、財政課長などを歴任し、新津市の行政一筋に尽力されてきました。

今後、その知識と経験で市長を助け、市政発展への貢献が期待されます。

10月からのごみ（資源ごみ）収集形態について



※粗大ごみは清掃センターへ自己搬入してください。できない場合は、収集業者に運搬依頼（運賃有料）するか、買換え時下取りするかしてください。

お買物、ご用命は市内で

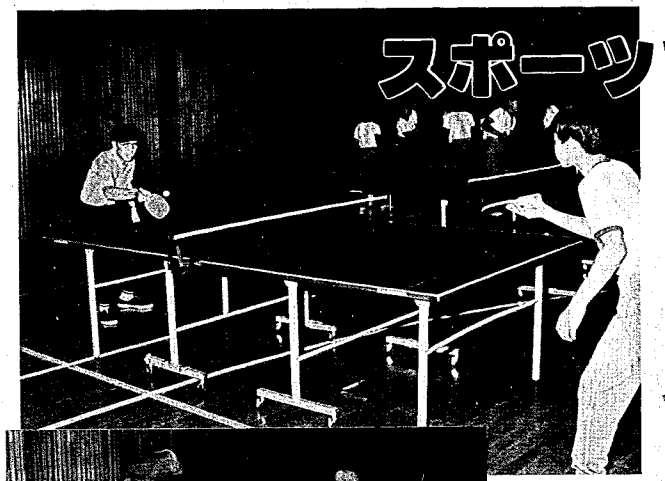
事業拡充のため　男子社員を募集します

■職種／建築作業員・見習い作業員
■給与／当社規定による
■勤務時間／8時～17時
※事前に電話連絡のうえ、おこしください。

石川工務店（有）
新津市北上1－210－1
TEL 24－6116・24－7452

スポーツで人づくり

青少年健全育成
スポーツ派遣講師の活動⑥



奥村さん

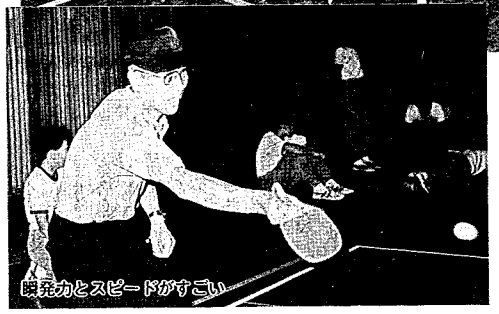
スポーツ派遣講師の皆さんの活動を紹介してきたこのコーナーも回を重ね、これまで五人の講師の人に登場していただきました。それぞれの考え方や指導法は違いますが、唯一共通していることは、スポーツが好きでたまらないということです。そしてスポーツに対するその真摯な姿勢こそ、何よりも「人づくり」になっているのではないでしょうか。

最終回の今回は、市内四校での指導経験を持ち、現在、小合中学校と第二中学校の二校で指導をされている奥村幸男さん（本町3、63歳）をご紹介します。

昔は、卓球が盛んでした

新津市卓球連盟が設立されたのは昭和二十三年四月、奥村さんは、その創設メンバーの一人です。

「終戦後の物のない時代でしたから、自分で桐のラケットを作ったものです。卓球をしているとカーン、カーンときれいな音が響いていました」



瞬発力とスピードがすごい

奥村さんの手元に保管されている資料によると、昭和二十三年の新津町体育協会発会式の記念卓球大会には、団体戦に男性三十五チーム、女性八チームが参加しています。

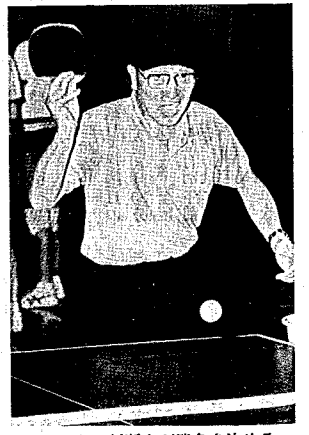
「あのころ、卓球が一番手軽で身近なスポーツだったのでしょう。市内にもたくさんのチームがありました。今ではとてもこれだけ集まりません」と寂しそうに話します。

多くの人と知り合えてよかった

奥村さんは、十五年ほど前まで、毎年のように旧国鉄の大会に県代表として出場していました。昭和二十五年には、国体にも出場しています。

ご自身の卓球人生についてこう話してくれました。

「良かったことといえば、健康でいられることでしょうか。でも、それ以上に大会などで全国を巡り、そこでたくさんの人たちと知り合うことができたことです」



「とっさの判断力が勝負を決める」と奥村さん

「卓球が縁で派遣講師になりましたが、高校生になった以前の教え子が、街の中で会うとあいさつをしてくれるのはうれしいものです」

続けることが本人のプラスに

二つの中学校で指導に当たられている奥村さんに、今の中学生の印象を聞いてみると、

「どうも覚えようという気が足りないようです。実力は、徐々についてきていると思うのですが、試合になるとその力を出せません。一人一人がそれぞれの目標を持って練習をして欲しいです」

「まだ、基礎も満足にできていませんから」と厳しい一言も。

しかし、「高校生になっても、卓球を続けてくれたらと思います。そうすれば卓球がうまくなるということではなく、必ず本人の人生にプラスになるはずですから」と熱っぽく話してくれました。

お買物、ご用命は市内で

"ヘアーのオシャレは当店で"
渡辺美容院
本町3　荒代川入りの下道通り
☎(22)0626
婚礼・着付
エステ(3種の美顔)メーク
カバーマーク&ウェラ
定休日／第週火曜&第3日曜日
◇営業時間前は電話予約制
FAX25－2515
ヘアメイク
わたなべ駅前店
☎(22)2611

●あなたの安心を企画する●
有限会社 樋口保険企画
☎0250・22・6774 FAX0250・24・9110
〒956 新津市金沢町3丁目7番20号